

現代アジアのルポルタージュ

小林 磨理恵

ルポルタージュは、著者が自身の経験を土台に、綿密な取材をもとに、間近にみた地の現実を描き出す作品である。その物語の多くは著者の眼を軸に展開し、読み手は現実世界を「生々しく」感じ取ることが出来る。本稿では、現代アジアの実相に迫るルポルタージュを紹介したい。

石井光太著『物乞う仏陀』（文藝春秋、二〇〇八年）は、東南アジアや南アジアに生きる「物乞う」障害者の日常生活に迫る。カンボジアで地雷により手足を吹き飛ばされた人々、ミャンマーでハンセン病を患う人々、インドでマフィアに手足を切断され、目をつぶされて物乞いを強いられる人々など、一括りに「障害者」と呼んでも、抱える問題やその背景はそれぞれ異なる。なぜ障害を抱えるに至ったか、どのように生計を立てているか、社会は障害者をどのようにみているか。著者と「障害者」の感情が交錯するなかで、アジアに生きる障害者の哀しく、明るい生き様が浮き彫りになる。

久遠智彦著『ワーカーズ…労働をめぐるアジアの旅』（現代書館、二〇一二年）は、「いま、世界の労働現場では何が起きているのか」を探究するため、低賃金で働くアジア

諸国の労働者を訪ね歩いた著者が、労働の意味を問い直す。「単に労働者の声に耳を傾けるだけでは、かれらの心の深みに入り込むことは難しい。」そう考えた著者は、現場で身体を使って共に働き、自らも労働者となった。資本に振り回される労働者たちの姿、身も心も磨り減らしながら働く者たちの息遣いが丹念に記録されている。

水谷竹秀著『日本を捨てた男たち…フィリピンに生きる「困窮邦人」』（集英社、二〇一二年）は、経済的に困窮状態に陥り、路上生活やホームレス状態を強いられているフィリピンの日本人を取り上げる。フィリピンクラブで知り合った女性を追ってフィリピンに渡ったものの、日本に帰るお金もなく、日本にもフィリピンにも頼るあてのない「困窮邦人」は、フィリピンでは一般的な問題として理解されている。フィリピンでもがき、助けられながら生活する困窮邦人の人生を追うことは、日本社会の闇を照射することにも連なる。

和田博幸著『カンボジア、地の民』（社会評論社、二〇〇一年）は、一〇〇万とも二〇〇万ともいわれる命が奪われたポル・ポト時代の過去を持つカンボジアの農村の現状を描写

する。著者は「農民がどのように生まれ、働き、祈り、そして死んでいくのか」を、かつてのポル・ポト政権下で強制移送先となった農村に住みこんで見聞きし、苦難に直面している人びとを各地に訪ねて、その実像に迫った。エイズに侵された少女、過労死する労働者、産業廃棄物が捨てられた現場の周辺で、健康被害を訴える住民…。内戦後、市場経済化を経てめまぐるしく変化する社会のひずみが、農村に生じている。

横田幸典著『東ティモールに生まれて…独立に賭けるゼキトの青春』（現代書館、二〇〇一年）は、紛争地であった東ティモールを一九九一年から八年間にわたって取材した記録である。当時東ティモールの若者たちは、インドネシア軍の占領で表現の自由を奪われ、逮捕や拷問の恐怖にさらされていた。独立を願い、外国人に窮状を訴え、独立闘争を自論むゲリラ兵にも通じていた青年ゼキトの日常もまた、常に命の危険と隣り合わせだった。ゼキトの「友だち」として彼の人生に深く関わった著者が、ゼキトの日常生活とゼキトがイギリスへ亡命する過程を詳細に描く。過酷な運命にある若者やゲリラ兵が「普通の人たち」であることが印象深い。

渡辺一枝著『消されゆくチベット』（集英社、二〇一三年）は、ことに二〇〇八年の騒乱以降、中国政府に

よる宗教活動の制限、チベット語教育への介入、言論統制など、厳しい政治的、文化的弾圧下に置かれるチベットの現況を詳細に伝える。圧倒的な力の前に「消されゆく」伝統や文化を、チベットの人々はしたたかに、懸命に、守り抜こうとしている。一体かれらは何を守り、伝え、訴えようとしているのか。独自の取材を長年続けてきた著者だからこそみえるチベットの姿が描き出される。

李学俊著、澤田克己訳『天国の国境を越える…命懸けで脱北者を追いつけた1700日』（東洋経済新報社、二〇一三年）は、「飢え」などの理由で脱北し、中国に潜み、自由を求めて再び第三国の国境を越える脱北者たちの姿を、四年半余りにわたって取材した書。命懸けの脱北を経て散り散りになる家族の厳しい現実が明かされる。多くの家族の危険と悲しみを目撃し続けた著者は、取材の後に心身を病む。そして、「暑さに疲れた足を川につけたまま、降るような星空を見上げ」て、「体と心に平和と休息がもたらされることを祈る。だが、そんな願いは欲張りだということを悟るまでに、それほどの時間が必要なようには思えなかった。私は今も、心の国境を越えているからだ。」と、言葉を紡いだ。

（こぼやし まりえ／アジア経済研究所 図書館）